

とやま労福協

■発行所／(社)富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL076-431-0539 FAX076-431-0510 ■発行責任者／安東 誠・編集者／青木真佐美



「支えあいと助け合い」が 活かされる社会を 目指して



社団法人 富山県労働者福祉事業協会
理事長 森本富志雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には2011年の新春を心新たにお迎えのことと存じます。本年も皆様にとって希望の持てる年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

去年は、新政権に大きな期待しておりましたが、「政治と金」の問題に始まり「普天間問題」「外交」「防衛」など政治が安定せず、経済的にも社会的にも

大きな将来不安を取り除くことができず、厳しい環境が続きました。

このような中、労福協は貧困や多重債務への取り組み、司法修習生の給費制存続の取組み、消費者運動との連携など「支えあいと助け合い」が活かされる社会、ゆとり豊かさが実感でき温もりのある社会を目指し、運動を展開してきました。

富山労福協は、連合富山をはじめ北陸労金、全労済、県生協、勤信協、ボルファートとやま、ゆ〜とりあ越中、富山北モータープールなどの労働団体と労働福祉事業団体が協働の公益事業として、また、富山県ライフサポートセンターを起点に、4地域において勤労者の暮らしサポート事業として取り組んできました。今年も、セーフティネットの強化や多重債務対策、消費者政策の充実強化に取り組むとともに、今年も引き続き地域コミュニティが担えよう推進してまいります。

また、公益法人改革（一般社団法人）は、2012年4月実施に向け取り組んでまいります。

労福協の収益事業では、目標達成まであと少しの状況となりました。関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。引き続きより安定経営を目指し福祉事業団体内の協力支援について検討を始めてまいります。

今日までの力強いご支援ご協力に衷心より感謝申し上げますと共に、引き続き着実に前進を図ってまいりますので、より一層のご協力ご支援を申し上げます。

今年もよろしくお願ひ致します

職 務	青木 真佐美	吉久 真佐美	宮川 泰明	鶴木 清人	藤井 敏和	尾島 正夫	山本 武明	平野 亨	北宮 浩	瀬川 郎	有田 彦	西田 明	土肥 明	佐幸 彦	尾谷 明	松田 弘	上野 孝	長井 行	藤井 二彦	石黒 博	永田 均	松浦 樹	安東 誠	藤田 均	草畑 誠	森嶋 治	副理事長	理事長	理事長	専務理事	理事	理事	理事
-----	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------	----	----	----

将来にわたって安心して 暮らせる社会の実現を

日本労働組合総連合会富山県連合会

会長 森本富志雄



新年あけましておめでとうございます。
皆様にはご家族お揃いで、新しい年の始まりをお迎
えのこととお慶び申し上げます。

今日、国内外の経済環境は、2008年のリーマンショッ
ク以来続いた、百年に一度とさえ言われた「世界同時
不況」の懸念からようやく抜け出し、企業業績も緩や
かながら回復の基調、兆しを示す数値も伝えられて
おります。

しかし一方で、雇用・労働環境に目を転じますと、
不安定に推移する外国為替相場や国内株価が低迷する
中で、国内経済は依然としてデフレ状態にあり、引き
続き多くの企業や団体において、賃金をはじめとする
福祉諸条件の切り下げ、引いては雇用調整の継続をも
余儀なくされる等、厳しい状況にあります。

また、税と社会保障の一体的改革、雇用の創出、そ
して若年者の雇用環境の改善、介護・子育て支援の体
制整備、経済連携協定など、国民県民の生活に直接関
わる喫緊課題は、山積し、行政としても国、地方を問
わず、迅速かつ的確な施策の断行が求められています。

連合は、本年度よりその「目指す社会」を「労働を
中心とした福祉型社会」から「働くことを軸とする安
心社会」に変更しました。これは「はたらく」という
ことをあらゆる角度から見つめ、改善することであり、
雇用による労働のみならず、NPOや共同組合による
共同労働などに従事する皆さんを含めた取り組みを意
味します。

そのような中で迎える2011春季生活闘争は、減少し
続けている労働者の賃金を「復元」していくために公
正な配分を積極的に追及していく闘いとなります。

その闘いの具体的なポイントは、構成組織の垣根を
超え、業種ごとに組織して2年目を迎える「業種別共
闘会議」のさらなる機能・役割強化です。

各構成組織の理解とより多くの加盟組織の参加と協
力で、連合富山の共闘の価値を一層高めていかなけれ
ばなりません。

2点目は、「非正規雇用を取り巻く環境の是正、改
善」です。昨年の春季生活闘争で、わたしたちは、す
べての働く者のために、正規・非正規の雇用形態に関
わらず、同じ考え方で統一的に労働条件の改善をめざ
す取り組みをスタートさせました。私たちが「すべて
の働く者のために」という共通の目標を掲げて行動す
ることは、職場で働く非正規雇用労働者へのエールと
なり、いわば“縁遠い存在”であった労働組合に対す
る距離を縮め、一定の信頼を高めることにも繋がった
と思います。

非正規雇用労働者の処遇改善は「労働組合」がやら
なければなりませんし、「労働組合」にしかできない
との自負もあります。

本年も連合富山は、富山労福協をはじめ各福祉事業
団体と連携、協働し、すべてののはたらくものが家族を
含め、将来にわたって安心して暮らせる社会の実現に
向け、全力を挙げていきます。

皆さんのご理解と倍旧のご支援をよろしくお願い致
します。

最後になりましたが、今年が皆さんにとって、明る
く充実した年になることをご祈念し、年頭のごあいさ
つと致します。

人が輝く 「元気とやま」の創造を めざして

富山県知事

石井 隆一



明けましておめでとうございます。西暦2011年の初
春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

労働福祉事業団体の皆様方には、日頃から労働者の
福祉充実や生活向上のため、幅広い事業活動を展開さ
れており、深く敬意を表します。

平成16年11月の知事就任以来、多くの県民の皆様
のご支援とご支持をいただきながら、ふるさと富山県
の発展と県民の皆様のご幸せのために邁進してまいり
ました。

私の変わらぬ目標は、県民の皆様一人ひとりが夢と
希望を持って、いきいきと働き暮らせる「元気な富山
県」を創ることです。このため、タウンミーティング
などを通して県民の皆様と直接対話し、できるだけ多
くのご意見をお聴きしながら県政に反映するよう努め、
「活力」「未来」「安心」の三つの基本政策を柱に、各
種施策の推進に積極的かつ戦略的に取り組んでまいり

ました。

なかでも、「活力」では、依然として厳しい雇用情
勢に対応するため、雇用創出基金を活用した事業を実
施することにより、平成21年度から平成23年度までの
3年間で1万人超をさらに上回る雇用創出をめざして、
積極的に取り組んでいるところであります。

今後とも、勤勉で進取の気性に富む県民性、日本海
側トップクラスの産業基盤、豊かで美しい自然、多彩
な文化など本県の優れた特色を活かして、将来を見据
えた産業の振興、子育て支援、福祉・医療の充実、ふ
るさと教育をはじめ教育・文化の振興、環境の保全な
ど重要課題に果敢に挑戦してまいります。また、国内
外の社会経済情勢が大きく変化するなか、先見性と戦
略性のある新たな総合計画の策定に向け検討を進めて
いるところであり、県民の皆様のご知恵を結集して、実
効性ある計画となるよう全力を尽くし、人が輝く「元
気とやまの創造」に努めてまいります。

新年にあたり、県政に対するご理解とご協力をお願
い申し上げますとともに、労働福祉事業団体の限りな
いご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り
申しあげまして、新年のごあいさつといたします。

ご愛顧に感謝、これからも 多くの人に生活応援。

北陸労働金庫

富山県本部長 山本 敏夫



新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいで健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろよりろうきんへのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

昨年は、急速に落ち込んだ世界経済が世界各国の金融・財政政策の総動員により回復に向かい、わが国経済も内外の在庫調整の進展や中国をはじめとした新興国経済の高まりを背景に、輸出や生産が拡大しました。

その先行きについては、景気が持ち直していくことが期待されるものの、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などにより、景気がさらに下押しされるリスクが存在するとも言われており、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることに注意が必要ともいわれています。

県内においても、有効求人倍率が0.71倍まで回復をみせるなど緩やかながら改善の兆しをみせていますが、

勤労者における環境はまだまだ厳しい状況が続いています。

このような金融経済環境下において、ろうきんは、勤労者のための「生活総合福祉金融機関」として、引き続きお客様に安心と良質な金融サービスの提供を行い、「生活応援運動」の更なる展開を今年も展開してまいります。

また、北陸ろうきんは本年創立10周年の節目を迎えます。ついては、記念キャンペーンを展開し、10年間にわたる皆様方のご協力に感謝の意を表したいと思います。

皆様方には今後ともご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご発展を心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



「最良の品質を 組合員のみなさまへ」

全労済富山県本部

理事長 藤畑 総司



新年あけましておめでとうございます。

協力団体、組合員のみなさまには、全労済の事業に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

日本経済は、企業収益の改善や緊急経済対策等の効果を背景に、緩やかな回復基調がみられていますが、新卒者の就職内定率の低下に見られるように、雇用環境は依然として厳しい状況が続いています。

全労済を取り巻く事業環境も、少子高齢化の進展や人口減少社会への突入や、2010年4月の保険法施行など、消費者保護や健全性基準等の厳格化に向けた法整備等がすすめられており、様々な分野において大きな変化に直面しています。

このような環境下の中、全労済では多様化する組合員の声に応えるため、「全労済業務品質基準」にもとづき、最良の品質を組合員に提供するため、組合員（お客様）目線で業務の標準化（迅速化・簡素化）に向けた取り組みをすすめてまいります。

また、「財務基盤強化基本計画」について、さらなるご理解・ご協力をいただきながら実行課題の取り組みを着実に進め、将来にわたる組合員の保障と安心の一層確実な提供に向けて、十分な財務体質を確保して

まいります。

さらに、組合員からの改善要望や少子高齢化の変化を踏まえ、「こくみん共済」や「団体ねんきん共済」などの制度改定を実現させるとともに、組合員のニーズにきめ細かに応えた魅力ある共済商品の開発・改定をすすめます。

そして、本部・事業本部・県本部が一体となって創意と工夫による推進活動を展開し、新たな事業推進態勢による推進力向上とともに筋肉質の経営・組織体質への転換をはかり、全労済の事業・経営基盤を確立し、競争力を向上させます。

大変厳しい事業環境ではありますが、厳しい時にこそ、全労済の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」に立ち返り、「組合員の全労済」、「正直な全労済」、「努力の全労済」という3つの信条を基本として日々の業務を展開し、組合員への最良品質を提供し続けることにより、社会的な責任を果たす所存です。

みなさまのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、「訪問介護」事業や、くつろぎの宿「越中庄川荘」の施設事業についても、多くの方のご利用をお待ちいたしております。

みなさまとご家族のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

組合員満足の向上と 地域社会への お役立ちに向けて



富山県生活協同組合

理事長 松浦 均

新年明けましておめでとうございます。

2011年の新春を、ご家族揃ってご健勝でお迎えになったこと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、第51回通常総代会において「食の安全、くらしの安心へのお役立ちを高め、富山県で一番ありがたいが集まる、県生協になりましょう」のスローガンの下、食とくらしの安心づくりを進めていくことをご承認いただき、組合員の視点に立った取り組みを一步、前進することができました。

特に、更なる組合員満足の向上に向け、鮮度の向上・地産地消の推進・買やすい少量規格の品揃えなどを進めます。そのため、富山県生協本部横（富山市金屋）に要冷物流センターを建設し、地場産の野菜や加工品を収穫・製造後、より早く組合員の手元にお届けする計画です。多くの組合員に満足いただける鮮度・品揃

えを実現できるように取り組みを進め、6月からの稼働を予定しています。

くらしをめぐる情勢は、経済の低迷、実収入の減少、雇用不安定な状態が続き、食品に関しては、より堅実な消費者意識により、価格競争が一層激化していくものと思われます。また、環境への対応は事業主としてCO₂総排出量の削減や、子育て支援、高齢化の進行などへの社会的問題への対応が求められています。

富山県生協では、「協同の力で心豊かなくらしと共生社会を創ります」の理念の下、組合員の皆さまのふだんのくらしにもっと役立つ事業の展開と、地域社会から求められる期待にお応えできるよう、今年も組合員・役職員が協力し富山県内の生協運動の発展のため、努力していく所存です。

皆さまの格段のご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます、年始のご挨拶とさせていただきます。



事業基盤の維持・ 強化と移行法人形態の 選択に向けて



財団法人富山県勤労者信用基金協会

理事長 石黒 博

新年あけましておめでとうございます。皆様には、卯年の初春をご健勝に迎えられましたこととお慶び申し上げます。昨年中は、当協会に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会の今年の主要課題は、「安定的な信用保証業務の推進と事業基盤の維持・強化」と「公益法人制度改革への対応（移行法人形態の決定）」となります。

当協会は、北陸労働金庫の系統保証機関として、勤労者の信用力を補完し、その経済的地位の向上と福祉の増進に寄与することを第一義に、事業基盤の維持・強化に努めてきました。ここ数年は、景気の低迷による勤労者の雇用環境の悪化等から、保証料収入の伸び悩みや代位弁済額の増加等により、厳しい事業経営となっています。今年も昨年に引き続き、「安定した事業経営基盤の維持・強化」に向け、北陸労働金庫富山県本部と連携しつつ、新規保証引き受けの拡大、代位

弁済の削減、求償権管理・回収業務の強化等に、精力的に取り組む所存であります。

「公益法人制度改革への対応」は、今年が正念場となります。当協会は、「公益法人」か「一般法人」か、選択する移行法人形態については、日本労信協での「公益法人検討プロジェクト」等の検討状況を踏まえ、全国労信連幹事会及び北陸労（勤）信協・協議会等に参加し、慎重に検討を重ねてきました。当協会としては、県に対する移行認可申請の最終期限日が2013年11月末であり、今後の移行認可申請に係る日数・スケジュール等を勘案すれば、遅くとも今年度中の選択方針の決定が必須であると考えています。

また、選択する移行法人形態については、日本労信協が昨年6月の通常総会で「非営利型一般法人」に決定したこと及び全国労信連幹事会及び北陸労（勤）信協・協議会での確認事項等を踏まえ、当協会としても「非営利型一般法人」を選択したいと考えています。

2011年は、当協会にとってこれまでの財団法人（特例民法法人）から新たな財団法人（一般法人）へ移行することを決定する歴史的な年となりますが、役職員一同、一生懸命頑張る所存であります。皆様には、この一年のご多幸を祈念しつつ、引き続き倍旧のご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お客様の満足度向上に向けて より一層の精進を



(株)ゴルフアートとやま

代表取締役社長 尾島 正和

新年あけましておめでとうございます。2011年の輝かしい年をご家族お揃いで、健やかに迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。

平素より皆様方には格別のお引き立てを賜わり厚く御礼申し上げます。多くの皆様「ゴルフアートとやま」をご利用いただき、社員一同衷心より厚く御礼申し上げます。

就任して1年半多くの皆様に支えられていますことに感謝しその重さを痛感しているところであります。

さて、昨年を振り返って見ますと、依然経済は安定せず回復基調にあるとは言え企業を取巻く環境は厳しい状況に至っています。経済の悪化は、企業の不況を導き依然、雇用、賃金面においても不安定要素が継続しており、ゴルフアートとやまを取巻く環境も大きく変化し、企業の自粛による大型会議、宴会などのキャンセル、低価格競争など厳しい状況が続いており事業運営にも大きな影響となっています。

本年は、平成19年度で策定しました5ヵ年計画の終結年にあたり、喫緊課題であります「満足いただける心のこもったおもてなし」、「安定した経営管理による

黒字経営への確立」に向け、社員一丸となり取り組んでまいります。

事業部門では、「伸ばす事業、縮小する事業、見直す事業」を見極め、原点に立ち返りながら、お客様の要望に耳を傾け、時代の変化に乗り遅れない運営を取り入れ、親しまれるゴルフアート運営に努めてまいります。

また、事業計画の重点課題にも掲げました「社員全員で知恵を出し合い実行、継続すれば人が人を呼ぶ」をスローガンに「情報収集の強化とおお客様の満足度への挑戦」に果敢に取り組む所存でございます。

2010年11月29日より、1階のリラシティ街に当社直営のイタリアン風のカフェ「フィオーレ」をオープンいたしました。今までの運営スタイルと異なった形での営業を行ない、ごゆっくりくつろぎいただけるお店となっています。

一昨年より開始しましたカルチャー事業は、ゴルフアートとやまを「人でいっぱい館内」、「元気を与えるゴルフアート」を目指し内容を充実させ取り組んでまいりましたが、受講生が20人前後に留まっています。一方で、労組のご協力により健康などの体験講座を地域に出かけ開催してまいりました。本年は内容を見直し充実した講座を開講いたします。

皆様方には、本年も格段のご支援、ご配慮、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

売上高の確保拡大と経費の削減で 安定した経営基盤の確立を



春日温泉観光開発株式会社

代表取締役社長 永田 博樹

新年明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えになられたことをお喜び申し上げます。

昨年中は、各構成組織、加盟組織の皆様方から多くのご利用をいただき、また、その家族の皆様方にも「ゆ〜とりあ越中」をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、取り巻く経営環境が大変厳しいなか(1)すべては「お客様の満足」のため、すべてはお客様に始まりお客様に終わる。(2)売上高拡大一全員セールスで挑戦・営業体制の拡充強化。(3)高品質一追従を許さないサービスで実践。(4)コスト優位一知恵と工夫で徹底。(5)コンプライアンス・事故災害ゼロ一基本動作で実現。このことを基本に、事業計画の推進を図ってきました。

特に、日本経済は急速に進む円高や株安、日欧米の景気失速により、依然として、雇用情勢の悪化による個人消費が下押しされるなど、取り巻く経営環境が大変厳しいなか、売上高の拡大と徹底したムリ・ムダの排除によるコストの削減・経費の削減を図るなかで、

取り組みを進めてきましたが、消費者の節約志向が一層進むなか、また、7月の第22回参議院通常選挙、そして、今夏の異常気象ともいえる猛暑等により宿泊・日帰り利用予約にも大きな影響をきたし、結果、上半期業績では減収・減益となり、特に、日帰り利用客の減少にともない、本業である旅館部門の売上高減等により、上半期売上高が対予算、対前同とも大幅は未達となり、大変厳しい状況となりました。

新しい年を迎え「ゆ〜とりあ越中」は、(1)団体客から個人・グループ客への利用形態が進展していること。(2)日帰り・宿泊客の減少傾向に歯止めをかけること。(3)少子高齢者時代を迎えていること。(4)多様化するお客様サービスに応えること等、直前する諸課題に素早く対処し、安定した経営基盤の確立を図ることが求められる年となります。「ゆ〜とりあ越中」としても、日帰り・宿泊客の増加策は喫緊の課題であり、リピーター客の囲い込み、インターネットを活用した予約獲得、近隣地域等への訪問営業の強化など、全社員が全力をあげて取り組んでいく決意です。

また、今年も諸課題が山積している「ゆ〜とりあ越中」ではありますが、「勤労者の保養施設」として「すべてはお客様に始まりお客様に終わる」を理念に、今まで以上に真心のこもったおもてなしと、安心できる施設で皆様方をお待ち申し上げます。

皆様のご健勝を申し上げ、今年も昨年同様、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

北陸新幹線開業を控え 営業努力を一段と強化

(株)富山北モータープール

代表取締役社長 森本富志雄



新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より富山北モータープールをご利用いただき、感謝とお礼を申し上げます。

2014年度末に予定されている北陸新幹線開業は、都市基盤整備事業として着々と進められています。北陸新幹線開業に伴い2016年に完成予定の連続立体交差事業については、駅周辺地区と中心商業地区を都心核、賑わい拠点として環状線の整備を中心に連携強化が図られ、観光利用の来街者を含めて流動増加が期待されます。駅周辺は独自の駐車場が多く設置され、低価格の駐車場も出てきました。今後は低価格競争が売上に大きく影響していくと考えられます。

新たな福祉ニーズに 応える事業の拡大をめざす

(財)富山県労働福祉基金

理事長 森本富志雄



新年明けまして おめでとうございます。

皆様におかれましては、新年を穏やかにお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

常日頃より富山県労働福祉基金に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

今日、日本の景気は一部に回復傾向にあると言われているものの依然厳しく、失業率も高止まり、貧困率も15.7%と減少せず、生活保護世帯も増加している状況にあります。私たち勤労者への賃金不安や生活不安などの社会的不安も改善されず未だ厳しい局面が続いております。

このような中、富山県労働福祉基金は基金運用益と富山県及び市町自治体、さらに県内福祉事業団体の臨時負担金を活用し「中小企業勤労者や未組織労働者の福祉の向上・発展及び生活の安定を図るため」の事業を展開しています。

勤労者の生活は年を追うごとに厳しい状況になっており、福祉基金への期待はより一層大きなものとなっています。従来の付加給付事業はもとより子育て支援、

環水公園では、リレーマラソンやクリスマス花火大会、また、全日本チンドンコンクール予選・本戦の会場が富山市総合体育館で行われ、多くの観光客で賑わいました。各種イベントに年々人が集まり賑わいを増し時間駐車に大きく影響しております。

今年も営業努力を一段と強めることはもちろんのこと、「安全で、便利で、安心して利用できる駐車場」として顧客の期待に応えるべく経営改善を考えていきますので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も皆様とご家族にとって素晴らしい年でありませうご祈念申し上げます、年頭のあいさつとします。



退職後も含めた生涯福祉支援などにも広がりを見せています。

皆さんのニーズに応えるため鋭意努力してまいります。今後とも皆様のより一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

主な事業

- (1) 県内の宿泊（保養）施設18カ所の利用補助事業
- (2) 太閤山ランド「プール広場」利用補助事業
- (3) 立山山麓スキー（オールシーズン）リフト券の補助事業
- (4) 「出産・子育て資金」融資保証料一部助成
- (5) 富山県立近代美術館、佐藤記念美術館、高岡市美術館、高岡市万葉歴史館、富山市郷土博物館、佐藤記念美術館、富山市民族民芸村、富山市科学博物館、富山市天文台など9施設の常設鑑賞券助成事業

